

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

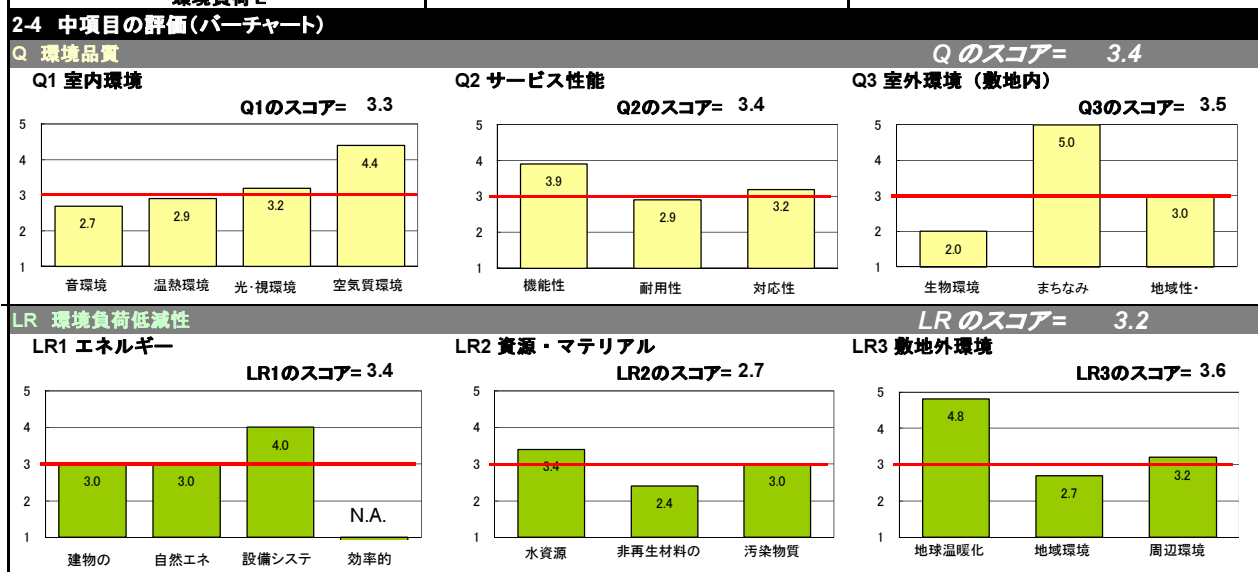
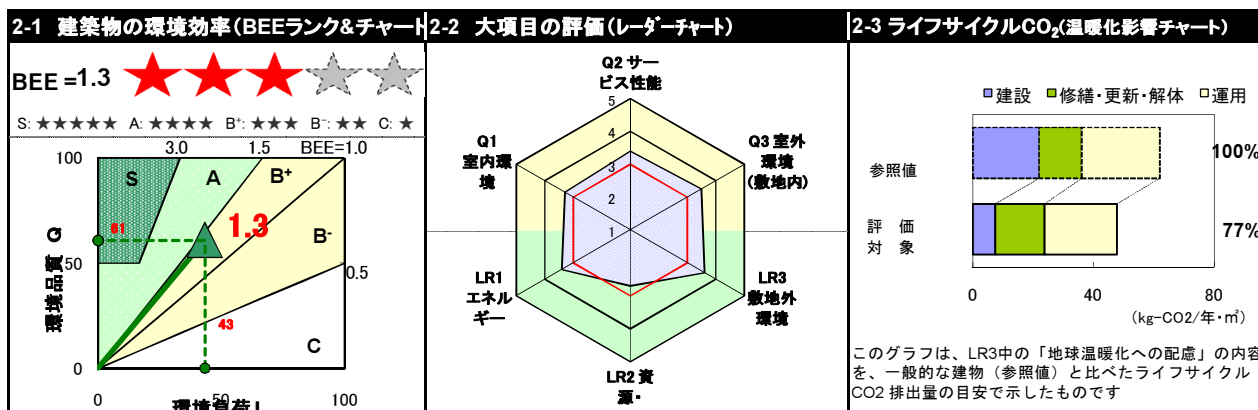
■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.2.0)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)京都市中京区扇屋町計画新	階数	地上10F	
建設地	京都市中京区堺町通押小路下る扇	構造	RC造	
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	108 人	
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年	
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2010年8月 予定	評価の実施日	2009年4月6日	
敷地面積	485 m ²	作成者		
建築面積	335 m ²	確認日		
延床面積	2,599 m ²	確認者		

外観パース等

図を貼り付けるときは

シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項			その他
総合			
注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。			注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
地域の特性を活かした計画とする。			
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境（敷地内）	注) 「Q3 室外環境（敷地内）」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 景観法及び市街地景観整備条例に基づき、周辺状況に配慮した外観とする。
注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ペアガラスの使用。	注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 「京都市建築物等のバリアフリーの促進に関する条例」の「整備基準」を満たす。耐用年数の長い材料の使用。	注) 「Q3 室外環境（敷地内）」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境	注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。
注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 便器等の設備機器に節水型を使用。	注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency (建築物総合環境性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される